

平成18年度鳥取大学附属小・中学校教育研究大会

図画工作・美術科分科会

**学ぶ意欲を高め、自分らしく表現する力を育てる
図工・美術科の学習**

～かたちとの対話～ ～あう・つくる・いかすを通して

1. 本校工科の育てたい力

自分らしさを表現する力

そのための...

- ・豊かな想像力
- ・ものの本質を見つめる力(多角的なものの見方と感じ方)
- ・実質的な力(技術・技法)

主体的で創造的な人間形成への
手段としての役割を担う

2. 図画工作科における学ぶ意欲とは

「やってみたい」「みつけた」「できた」 これらをもとにした
こだわりのある表現活動

意欲の段階

1 「うわあ」 驚き・発見

で
あ
い

2 「おもしろそう」「やってみたい」

3 「どうしようかな」「どんな工夫ができるかな」
「やってみよう」

つ
く
る

4 「できた」

5 「次はこんなことをしてみたい」「もっとしたい」

い
か
す

3. 発達段階における欲求と支援

- ・低学年 = 「やってみたい」
表現することの楽しさに浸るための支援
- ・中学年 = 「うまくなりたい」「あんなふうにかきたい、つくりたい」
自己と他者との比較によるジレンマの克服のための支援
- ・高学年 = 「自分はこうしたい、こうありたい」
自己の表現へ近づけるための表現技術の獲得への

支援

表現の楽しさ・自由に表現できることの保障

想像する力・発想や構想する力・表現技能

4. 実践「かたちをのこそう」

(1) 低学年で大切にしたいこと

「あい」であること = 素材・表現方法・ものの見方…

おどろきや疑問
こんなこともできるんだ
どうなっているんだろう
ためしてみよう

「あい」を大切にし、それらに十分に浸る活動への
アプローチを考えた題材設定

(3) 実践「でこぼこもようをつかまえよう」

ねらい

身のまわりにあるでこぼこのもようを見つけることを楽しみながら、いろいろなもようがあることに気づく。

学習の流れ

- ・でこぼこもようの写真を見る。写真ではでこぼこが伝わりにくいことに気づく。
- ・ねんどを使ってでこぼこもようをつかまえにいく。
- ・つかまえたもようを紹介しあう。
- ・どんなでこぼこがあったか振り返る。

学習の様子





(4) 本時の学習「かたちをのこそう」

なぜ「かたち」なのか～2年生で扱う意味

段階と発達の観点から

- ・ 線によるかたち 面(色)によるかたち 量を持つかたち

造形感覚の広がりの観点から

- ・ 視覚的にとらえたかたち 觸覚的にとらえたかたち
(平面性) (立体性・陰影)

残すかたちの観点から

- ・ 時間的存続性 活動や驚き、発達の記憶の振り返り

素材について

	心情的側面	技術的側面
ねんど	<ul style="list-style-type: none">・手の感触の心地よさ・感性への働きかけ	<ul style="list-style-type: none">・可塑性・やり直しが可能・自分の思いを表現しやすい
凝固材	<ul style="list-style-type: none">・初めての素材・固まるということへの興味関心・かたちを残すことができる	<ul style="list-style-type: none">・細かい隙間まで再現可能・低学年がすべて個々に扱うには難しいが、工夫しだいで可能



心情的側面と技術的側面の高揚が期待できる。

今後の学習

- ・残したいかたちを刻み、まわりを厚紙で囲み壁を作る(1時間)
- ・牛乳パックに石こうを入れ、ねんどに流し込む(2時間)
- ・石こうをはずす(0.5時間)
- ・残したいかたちを紹介し合う(1.5時間)

成果と課題

- ・消費的に扱われやすい造形活動への見直しが図れた。
- ・後にかたちを眺めたり、人に見せたりなど活動の継続性が期待できる。
- ・かたちにこだわった系統的な題材の開発 「でいい」を重視した題材
「学びをいかす」を重視した題材

ありがとうございました